

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【163】
2. 日時：令和2年4月20日 13時30分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官※
宇田川安全審査官※、堀野技術参与※、山浦技術参与※

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 課長 他10名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震に関する説明書について、令和2年1月24日、3月13日、4月1日及び4月7日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【最新知見として得られた減衰定数の採用について（使用済燃料貯蔵ラック）】

- 「第6表 実機ラックの固有周期と加速度・変位の関係」に示されるラック種類について、タイプI及びタイプIIの詳細を説明すること。また、ラックの応答加速度の算出に用いた設計用床応答曲線を説明すること。
- 「第7図 模擬燃料集合体の配置」に示される実燃料模擬体（1体）及び形状模擬体（49体）について、加振試験でこのような2種類の模擬体を用いた理由を記載して説明すること。

【燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書】

- 「燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算結果」に示される「脚に生じる応力」及び「基礎ボルトに生じる応力」について、熱交換器の長手方向転倒の場合と横方向転倒の場合で、大きく変わらない理由を整理して説明すること。

【Bijlaardの方法の適用文献について】

- Bijlaardの方法を適用した機器について、アタッチメントパラメータ β 及び評価結果を整理した上で、影響評価対象機器の代表性及び網羅

性を説明すること。

【原子炉補機冷却水系熱交換器の耐震性についての計算書】

- 「表 2-1 構造計画」の概略構造図に示される第 1 脚に設置した耐震強化サポートについて、その構造、荷重伝達方法等の詳細を明確にした上で耐震評価結果を説明すること。また、耐震強化サポートがない第 2 脚に対する耐震評価を不要とする考え方を説明すること。

【ほう酸水注入系貯蔵タンクの耐震性についての計算書】

- ほう酸水注入系貯蔵タンクのほか、軽油タンクなどの全ての平底たて置円筒形タンクについて、内部流体のスロッシングによる天板への影響について説明すること。

- (3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

なし